

11月 園だより

社会福祉法人
鳥取福祉会
まつほこども園 2025年11月号



「対話」から生まれる豊かな学び

すすきの穂が白く輝き、秋の風情を奏でています。友だちとの関りがぐっと深まる時期となりました。子ども達の歓声に導かれて、遊戯室を覗いてみると、遊戯室中に広がる巨大な『レジャー施設』が出来上がり、ごっこ遊びで大賑わいでした。BBQの炭火コンロや焼き芋オーブン、岩風呂の温泉、キャンプの素敵なテント…など、子ども達のアイディアが詰まった作品が並んでいます。担任に話を聞くと、「みんなで意見を出し合って考えたんです」「話し合うことが好きになりました」と素敵なコメントが返ってきました。振り返ると、夏の『お祭りごっこ』で、他クラスの友だちの様子を見たり、招いたりして、みんなで取り組む楽しさを知っている子ども達です。友だちと意見を出し合って工夫することで、遊びがより面白くなることも経験済みです。日々、ごっこ遊びに新たなアイディアが加わり、自分たちの遊びをより良くしようとする様子を見て、遊びを通じて学び、成長している子ども達の姿を嬉しく思いました。

幼児期は、遊びを通じて子ども同士の関係を深め、互いに学び合い、大きな目標に向けて共に協力していくことを経験していきます。遊びの中の「協同的な学び」は小学校における教科などの学習に引き継がれると言われています。※国立教育行政研究所教育課程研究センター「幼児期から学童期への教育」より「協同的な学び」の中で大切なことは子ども同士の話し合いです。話し合いを通して多様な見方や考え方を取り入れ、個々の参加の仕方は多様でも、意見を交わし葛藤しながら、共通の目的を見つけていきます。

「みんなで話し合うことが好きになった」と担任が何気なくいった言葉に、これからのお育ちがめざす『主体的に学び多様な他者と協働して新たな価値を生み出す資質・能力』が育ちつつあることを感じました。※中央教育審議会(答申)より

実りの秋！わくわくするような楽しみがあり、何をしようかと目的をもって園にやってくるように、子どもたちの「やりたい」気持ちが実現できるようサポートして、さらに保育の充実を図りたいと思います。

体育(からだ)・知育(あたま)・徳育(こころ)

健康な体づくり

★食に関する興味や関心を深め食べる意欲や楽しさを味わう

菜園活動

子どもたちが草取りなどをしてお世話をしてきたサツマイモを収穫しました。クッキングや焼き芋パーティーをして、美味しい秋の実りをいただきます。



★健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける

生活安全指導

トイレのドアに指を挟まないよう、注意マークを設置。ドアの開閉時に気を付けるようになりました。



交通安全指導

鳥取警察署の方をお招きして、信号機の正しい見方や横断歩道の渡り方、歩道のない道の歩き方を教わりました。



11月行事予定

- 3日（月）天空エリア記念式典(5歳児)
- 4日（火）発育測定(～7日)
- 5日（水）ボルダリング(5歳)
- 6日（木）英語保育(5歳児)
- 7日（金）子育て広場
集団遊び(5歳児)
- 10日（月）わくわくウィーク(～21日)
表現遊びウィーク(～28日)
- 11日（火）保育参観・保護者研修会・
給食試食会(0歳児)
- 13日（火）避難訓練(消防署との連携)
- 18日（火）りんご狩り(4歳児)
- 19日（水）尿検査(～20日)
- 29日（土）生活発表会(2・3・4・5歳児)

学びの基礎づくり

★四季折々の自然に触れ、五感を働かせながら様々な事象への興味関心を育む

戸外遊び・落ち葉拾い

心地よい秋の風を感じたり、園庭に落ちているきれいな色の落ち葉を発見したり、季節の移り変わりを感じて一つ一つの気付きに心をワクワクさせている子どもたちです。



★様々な素材の特徴や表現の仕方に気づき、感じたことや考えた事を表現する喜びを味わう

どんぐり遊び

布勢運動公園で見つけたどんぐり。「これはくぬぎって言うんだで」「こっちは違う形だと」、色々な種類のどんぐりがあることに気付き図鑑でどんぐり調べが始まりました。「そうだ、コロコロ装置を作ろう」と、よく転がる性質を活かし、友だちと一緒に遊びに取り入れ楽しんでいます。



★ごっこ遊びを通じて思いや考えを共有し自分たちで遊びを創る楽しさを味わう

ごっこ遊び

生活体験の中や絵本の中から興味関心のある「こと・もの」を取り入れました。子どもたちと保育者がアイディアを出し合い、話し合いながら遊びを創る楽しさを味わっています。



豊かな人間性づくり

★ごっこ遊びの中で、年上や保育者の真似をして遊ぶ。

ごっこ遊び

ごっこ遊びを通して、やりとりが盛んに見られています。他クラスの友だちと一緒に遊ぶ中で、年上の友だちのすることに憧れを抱き、仕草や言葉を真似て遊んでいます。※裏面をご覧ください



★地域の人々との交流を通して人とつながる楽しさを味わう

陶芸教室

高草人権センターの方に教わりながら陶芸を体験しました。焼き上がりを楽しみにしている子どもたちです。



湖山池天空エリアオープン

11月3日（月・祝）とっとり出合いの森に「湖山池天空エリア」がオープンします。

記念式典に年長児が出演します。オープニングイベントが開催されますので、ぜひお出掛けください。



2025 ごっこ遊びウィーク



各年齢が、子どもの興味関心や発達に合わせたごっこ遊びを楽しんでいます。「楽しかった。また、明日も遊びたい。」そんな子どもたちの気持ちを受け止め、保育者も子どもが表現する世界と一緒に楽しみごっこ遊びの世界を繋げています。そして、遊びがさらに面白くなるにはどうしたらよいのかという視点で、子どもたちが繰り返し遊びを楽しんだり発展させたりしていくように環境を整えています。

ひよこ組



乗りもの

探索活動が活発になっていく0歳児



いす組

見立て遊びを楽しむ2歳児



お買い物



うさぎ組

身近な動作を再現する1歳児



経験が遊びになる3歳児

こぐま組

焼き芋屋さん



2歳以上児は園庭で各クラスが楽しんでいる
ごっこ遊びを組合せ、みんなで楽しみました

こじか組

友だちと一緒にイメージを形にする4歳児

4歳児



スイーツ屋さん



バーベキュー



つり



きりん組

動物園



キャンプファイヤー

本物らしさを追求し、お話を展開する5歳児



動物と散歩

クラスの友だちと色々なアイディアを出し合いながら、自分たちの遊びがもっと楽しくなるように、遊びに必要な物を作りました。普段の生活や遊びの中で互いの良さに気づき、友だちとの関係を広げながら園生活を送っている子どもたち。保育者は、子ども同士の関係が深まるように丁寧に仲立ちをしながらやりとりを支えています。友だちと共に願いや目的をもって活動を展開する中で、保育者の支えの元、友だちと一緒に活動することを楽しんでいます。

子どもたちは、保育者との応答的な関わりの中で安心感を持ち、周りの友だちへ関心を寄せていきます。自分の好きな遊びを見つけ、場を共有しながら近くの友だちと一緒に過ごす時間を楽しむようになります。保育者は、低年齢であるほど子どもたちの表情や声から心情を汲み取り、遊びがもっと面白くなるように発達に合わせて環境を変化させていきます。